

こんにちは

# 会社訪問記

レアメタル、貴金属の回収を通して、資源のリサイクルに貢献いたします。

## 株式会社金属資源開発商会

(海部郡七宝町)

近くに田畑が広がり、遠く山並みまで見渡せる平野部ならではののどかな風景に囲まれた場所にある株式会社金属資源開発商会におじゃまし、事業内容等についていろいろ片山社長にお話をさせていただきました。

——社名に金属資源開発と入っていますが、事業内容をご説明いただけませんか。

片山社長(以下片山に略)『簡単にいいますと、ご不用になったコンピュータ、OA機器・電子機器などの全般的な通信機器類と情報産業で使われる機器類の撤去・回収・処理処分及び再資源化を行っています。社名に金属資源開発と入って



片山社長

いるのは、これらの機器からレアメタルや貴金属の回収とリサイクルをメインに行うことに由来しているからです。』

——では、事業を行うにあたっての基本姿勢を教えてください。

片山『私どもが取扱う物は、単なる廃棄物ではなく有価物であるという認識を持ち、いかに廃棄物から有価物へ付加価値を高めていくかに事業の力点を置いています。また、国際相場や国際紛争にも左右されますので、事業としてなかなか難しいところもありますが、この資源のない日本において少しでも資源の有効利用を行うことにより、省資源のお手伝いできればと日々考えています。少しでも価値のある物はリサイクルにまわし、どうしてもない物だけを最終処分にと。ただ、いまの物の価値観とリサイクルコスト面がかみ合わないことが、頭の痛いところ。』

——破砕機や焼却炉なども持っていらっしゃるということですが。



第二資材置場

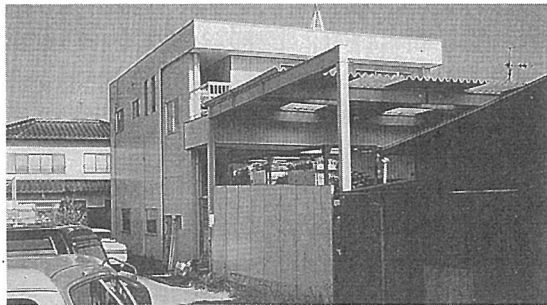
片山『破砕機は、コンピュータ等の基板類の破砕に使用しています。焼却炉は、紙や材木を専門に燃やす二次燃焼式焼却炉があるのですが、近いうちにグレードアップを行う予定です。当社の取扱う廃棄物は、焼却し灰にしてから処理を行うことを前提としており、灰自体は有価物として扱います。プリント基板等には高付加価値金属がついていますのでそれを抽出し、リサイクルすることが当社の使命だと考えています。現在は限定で埋立て処分も行っていますが、焼却することで廃棄物の減容、最終処分場の延命化にも少々貢献しているのではないかと思います。今年早々にはアルミの融解炉と反射炉も本稼働します。今後もさらにシステムアップを図っていく予定です。』

——収集した機器類の資材置場と分別・選別・焼却など行う工場をお持ちですが、地域住民の方々に対する対策や配慮は何をされていますか。

片山『廃棄物の飛散防止と小さな子供さんが入り込んでケガなどしないように、周囲に鉄板で囲み、近隣にご迷惑がかからないようにしています。』

——では最後に、将来的にはどのような事業体制でこの事業に臨まれるおつもりですか。

片山『現在、本社を含めて3カ所に分散している作業場を1カ所に集約し、破砕から焼却、資源の回収そしてリサイクルという一連の作業が行えるような体制を、早期に実現したいと思います。』



社名/株式会社金属資源開発商会 所在地/愛知県海部郡七宝町大字川部  
字出屋敷76の2 代表者/片山憲三郎 創業/昭和38年 従業員/4名  
TEL/052(441)5385  
事業所/本社工場、第一工場、第二資材置場  
営業種別/収集運搬  
取扱品目/廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材